

ASLEdit+ 1.0

Guide

ASL Laboratory

目次

目次	2
はじめに	3
稼働環境	4
パッケージ内容	4
便利な使用方法	4
セットアップ.....	5
メニュー	7
ダイアログ	12
ウィンドウ	15
正規表現	15
パフォーマンス比較	16
配付について.....	17
リリースノート	17

はじめに

ASLEdit+は、日本語処理が可能なプログラミングエディタです。THINK Technologies 社から販売されていた CAPPSS' Editor Construction Kit をベースにしたエディタです。

このソフトウェアを作成した 1988 年は、まだモトローラの 68000 CPU 全盛期の時代でした。その後、PowerPC CPU・PowerMacintosh が登場しますが、68000 エミュレータのおかげで旧アプリケーションは新 OS 上で動作し、PowerPC 版に移植されていきました。

私が ASLEdit+を最後にリリースしたのは 1994 年の 1.0/a43 です。このまま永眠させてあげたかったのですが、いくつかの理由で復活させることになりました。

理由 1 Mac OS X 用のエディタは、マルチ言語をサポートしたために、特殊コード（例えばヌル 0x00）を含んでいるファイルをオープンできない。エディタ上で特殊コードを入力すると、保存時に中国語として保存しようとする。

理由 2 巨大なクラスライブラリの採用で、読み込み・処理スピードが犠牲になっている。ASLEdit+で 3.5 秒でオープンできるファイルが、Mac OS X 純正のエディタであるテキストエディットで 11 分以上もかかる。

Mozilla (Netscape)のメールデータは 1 ファイルに集約されており、これらのデータを高速にブラウズしたり、巨大なログファイルをブラウズするのに Mac OS X 用のマルチ言語エディタが適切とは言えないでしょう。

Mach-O ネーティブの ASLEdit+ 2.0 もあるのですが、まだ完成にはほど遠いので ASLEdit+ 1.0 をブラッシュアップしました。ASLEdit+ 1.0 は、Mac OS 上で最大 1.4GB、Mac OS X 上で 830MB (Classic エミュレータの制限) のサイズのファイルのブラウズ／編集が、現実的なスピードで可能なエディタです。

Mac OS / Mac OS X の 68000 エミュレータは、一度実行すると 68000 コードから PowerPC コードを自動生成し、それをメモリ内にキャッシュするため、何度も実行されるループコードはネイティブコードなみに早くなります。ASLEdit+ 1.0 のコアコードはアセンブラで記述されており、PowerPC に移植してもスピードアップはせいぜい 2 - 3 倍程度で、桁違いなスピードは得られないでしょう。

稼働環境

ASLEdit+を使用するためには、以下の環境が必要です。

- ・ Mac Plus 以降 / Power Macintosh 全機種
- ・ System 6.0.7 以降 / 全ての Mac OS / 全ての Mac OS X (Classic Mode)

パッケージ内容

ASLEdit+	(実行プログラム)
ASLEdit+.pdf	(マニュアル)

便利な使用方法

特定のフォルダ内のファイルを全て検索したい場合

1. 検索対象フォルダを ASLEdit+にドラッグアンドドロップします。
2. 「Find」ダイアログが表示されますので、検索テキストを入力して「Find」ボタンをクリックします。
3. 検索テキストを見つけると、ウィンドウに表示されます。
4. 次のファイルを検索したい場合は、command-T を入力します。

改行コード CR を LF に変更したい場合

1. ファイルをオープンして、「Find」ダイアログを表示させます。
2. 「Find」フィールドに command-return を、「Replace with」フィールドに control-J を入力し、「Don't Find」ボタンをクリックします。
3. 「Search」メニューの「Replace All...」を選択して、「No」をクリックします。

セットアップ

ASLEdit+のメモリサイズを以下の方法で指定して下さい。

Mac OS の場合

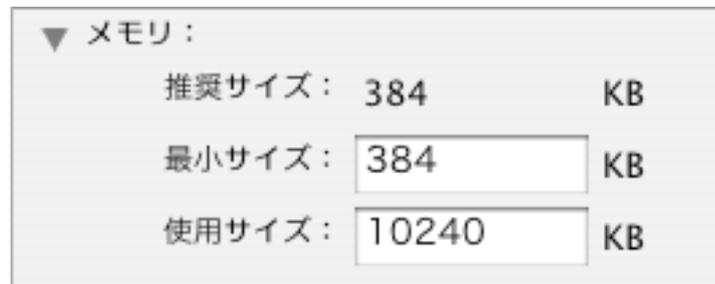
ASLEdit+をクリックし、ファインダの「情報を見る」を選択して下さい。左下のロックをクリックして、「使用サイズ」にメモリサイズを指定して下さい。デフォルトは 10240 (10MB)です。最小 384 (384KB)から、最大 1400000 (1.4GB)まで設定可能です。

あまりサイズを増やすと他のアプリケーションが起動できなくなりますので、実メモリサイズの数分の1程度にすべきです。一度ウィンドウをクローズしてから再度表示し、ロックをクリックします。

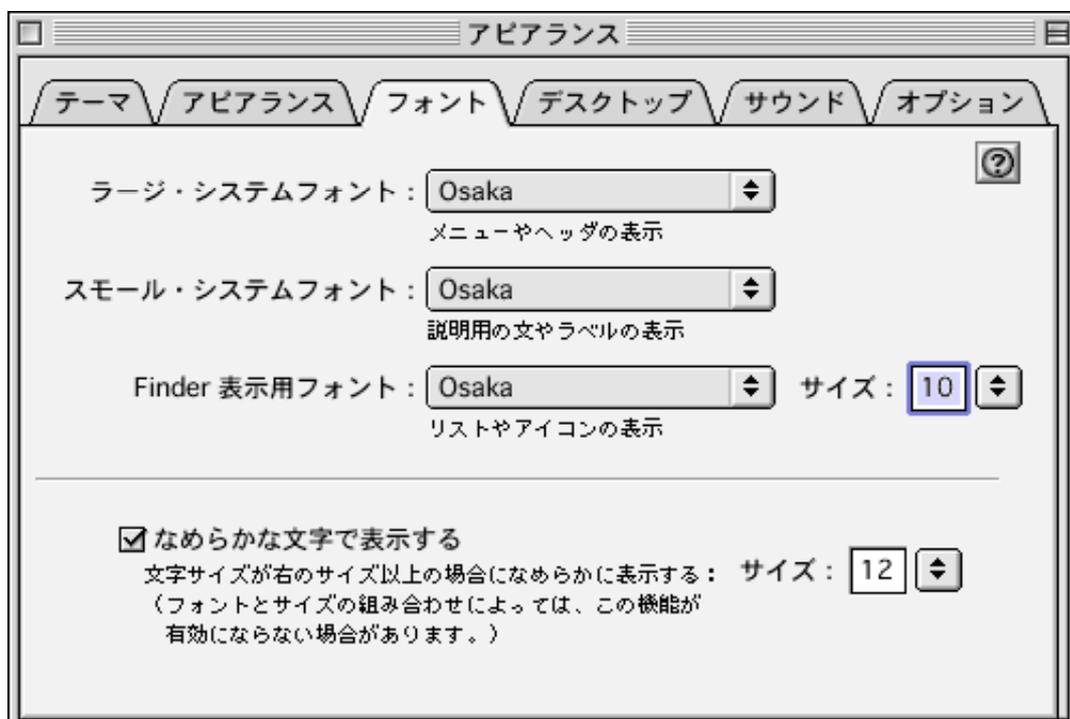


Mac OS X の場合

ASLEdit+をクリックし、ファインダの「情報を見る」を選択して下さい。左下のロックをクリックして、「使用サイズ」にメモリサイズを指定して下さい。デフォルトは 10240 (10MB)です。最小 384 (384KB)から、最大 830000 (830MB)まで設定可能です。一度ウィンドウをクローズしてから再度表示し、ロックをクリックします。



Mac OS X 上の ASLEdit+は「Osaka-等幅」の 16 ポイントをデフォルトフォントとして使用します。スムーズフォントとして使うため、Classic のシステムフォルダ: コントロールパネルフォルダ内の「アピアランス」コントロールパネルを起動し、「なめらかな文字で使用する」チェックアイテムをオンにして下さい。



メニュー

File メニュー

File	
New	⌘N
Open...	⌘O
Close	⌘W
Save	⌘S
Save as...	
Revert	
Page Setup...	
Print...	⌘P
Transfer...	⌘`
Quit	⌘Q

- 「New」 ウィンドウを新規で作成します。ウィンドウ数は最大 128 です。
- 「Open...」 テキストファイルをオープンします。オプションキーを押しながらオープンすることで、全てのファイルを選択できます。
- 「Close」 フロントウィンドウをクローズします。シフトキーを押しながらクローズすることで、ファイルを保存せずにクローズできます。
- 「Save」 フロントウィンドウのテキストをファイルとして保存します。
- 「Save as...」 フロントウィンドウのテキストを別名で保存します。
- 「Revert」 最後に保存したテキストに戻します。
- 「Page Setup...」 用紙設定ダイアログを表示します。
- 「Print...」 フロントウィンドウのテキストをプリンタに印字します。カラー／白黒が選択できる場合、白黒モードを選択して下さい。
- 「Transfer...」 System 6 上で ASLEdit+を終了し、他のアプリケーションを起動する時に使用します。
- 「Quit」 アプリケーションを終了します。シフトキーを押しながら終了することで、全てのファイルを保存せずに終了できます。

Edit メニュー

Edit	
Undo	⌘Z
Cut	⌘X
Copy	⌘C
Paste	⌘V
Clear	
Select All	⌘A
Set Tabs & Font...	⌘;
Shift Left	⌘[
Shift Right	⌘]

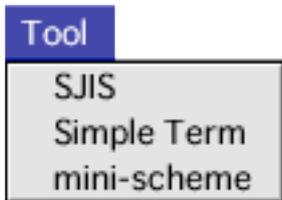
- 「Undo」 「Redo」 入力したテキストを破棄・復帰します。
- 「Cut」 選択されているテキストをクリップボードにコピーし、テキストを消去します。
- 「Copy」 選択されているテキストをクリップボードにコピーします。
- 「Paste」 クリップボードのテキストを入力します。
- 「Clear」 選択されているテキストを消去します。
- 「Select All」 「DeSelect All」 全てのテキストを選択・非選択します。
- 「Set Tabs & Font...」 タブサイズとフォントを指定します。
- 「Shift Left」 選択されているテキストを右に移動します。
- 「Shift Right」 選択されているテキストを左に移動します。

Find メニュー

Search	
Find...	⌘F
Enter Find Selection	⌘E
Enter Replace Selection	⌘R
Find Again	⌘G
Replace	⌘=
Replace and Find Again	⌘L
Replace All...	
Find in Next File	⌘T
Go to Top	
Go to Bottom	
Go to Line #...	⌘¥

- 「Find...」 「Find」 ダイアログを表示します。
- 「Enter Find Selection」 選択されているテキストを「Find」ダイアログ内の「Find」フィールドにコピーします。
- 「Enter Replace Selection」 選択されているテキストを「Find」ダイアログ内の「Replace with」フィールドにコピーします。
- 「Find Again」 「Find」ダイアログ内の「Find」フィールドのテキストを検索します。
- 「Replace」 選択されているテキストを「Find」ダイアログ内の「Replace with」フィールドのテキストで置き換えます。
- 「Replace and Find Again」 選択されているテキストを「Find」ダイアログ内の「Replace with」フィールドのテキストで置き換えてから検索します。
- 「Find in Next File」 マルチファイルサーチで次のファイルを検索する時に使用します。
- 「Go to Top」 キャレット（入力ポインタ）をテキストの先頭に移動します。
- 「Go to Bottom」 キャレットをテキストの最後に移動します。
- 「Go to Line #...」 ラインナンバー移動ダイアログを表示します。

Tool メニュー



ASLEdit+プラグイン用メニューです。3つのプラグインをシステムフォルダか、ASLEdit+と同じフォルダにコピーして下さい。(minilnit.scmのみシステムフォルダではなく、ASLEdit+と同じフォルダに入れて下さい)

- | | |
|---------------|---|
| 「SJIS」 | シフトJISコード表を表示します。 |
| 「Simple Term」 | 簡易ターミナルソフトを起動します。ポートはモデムポートを使用します。スピードを選択してから使用して下さい。 |
| 「mini-scheme」 | mini-scheme を起動します。 |

View メニュー

View	
Switch Application	
Next Window	⌘+
Previous Window	⌘-
Full Windows	
Stack Windows	
Tile Windows	
Untitled-1	⌘1

「Switch Application」 他のアプリケーションに切り替えます。

「Next Window」 次のウィンドウを表示します。

「Previous Window」 前のウィンドウを表示します。

「Full Windows」 全てのウィンドウをフルサイズに設定します。

「Stack Windows」 全てのウィンドウを適切なサイズに重ねます。

「Tile Windows」 全てのウィンドウをタイル上に設定します。

ダイアログ

Find ダイアログ

Find: Replace with:

Entire Word Multi-File Search Filename
 Wrap Around Grep
 Ignore Case

Find Don't Find Cancel

テキスト検索・置換用のダイアログです。

「Find」フィールド 検索テキストを入力します。

「Replace with」フィールド 置換テキストを入力します。

「Filename」フィールド マルチファイルサーチ時の検索対象ファイル名を指定します。
例：*.c / *.h 等

「Entire Word」 検索テキスト全体を検索対象とする場合にオンにします。

「Wrap Around」 折り返し検索する場合にオンにします。

「Ignore Case」 英語半角文字の大文字／小文字を無視する場合にオンにします。

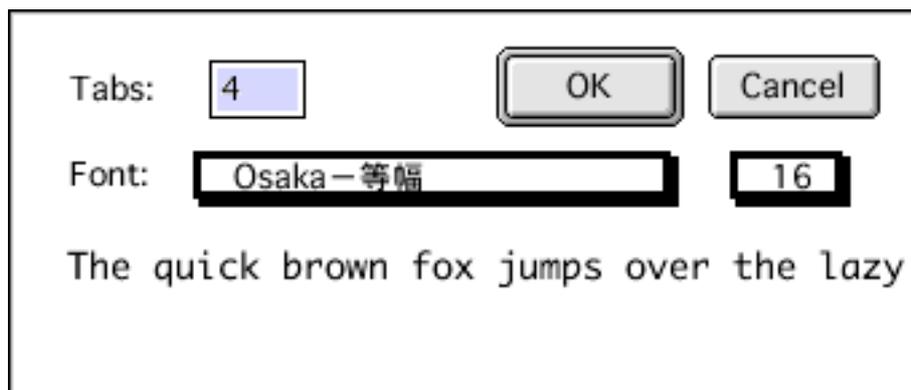
「Multi-File Search」 マルチファイルサーチを使用する場合にクリックします。

「Find」ボタン 「Find」フィールドで指定されたテキストを検索します。

「Don't Find」ボタン 変更された設定を保持したままで、ダイアログをクローズします。

「Cancel」ボタン 変更された設定を破棄して、ダイアログをクローズします。

Set Tabs & Font ダイアログ



タブサイズ・フォント指定用のダイアログです。

「Tabs」フィールド タブサイズを指定します。

「Font」ポップアップ フォントを指定します。

「Font Size」ポップアップ フォントのサイズを指定します。指定可能な値は 6 / 8 / 9 / 10 / 12 / 14 / 16 / 18 / 20 / 24 / 27 / 30 / 32 / 36 / 40 の 15 種類です。

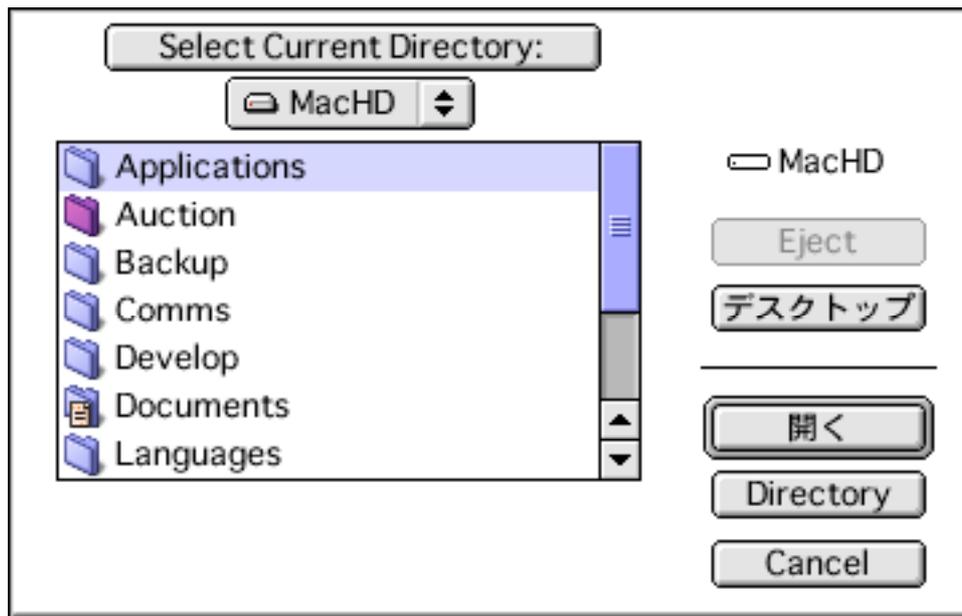
Go to Line #ダイアログ



ラインナンバー移動用ダイアログです。

「Go to Line #」フィールド 移動したいラインナンバーを入力します。

Multi-File Search ダイアログ



マルチファイル検索用のボリューム／ディレクトリ指定用ダイアログです。検索対象とするボリューム／ディレクトリを指定してください。検索対象となるファイルは、ファイルタイプがテキスト（'TEXT'）、PDF（PDF）、Unix（'\0\0\0\0'）です。

現在表示されているカレントディレクトリを指定する場合は、「Select Current Directory」ボタンをクリックします。

リスト表示内のハイライトされているディレクトリを指定する場合は、「Directory」ボタンをクリックします。

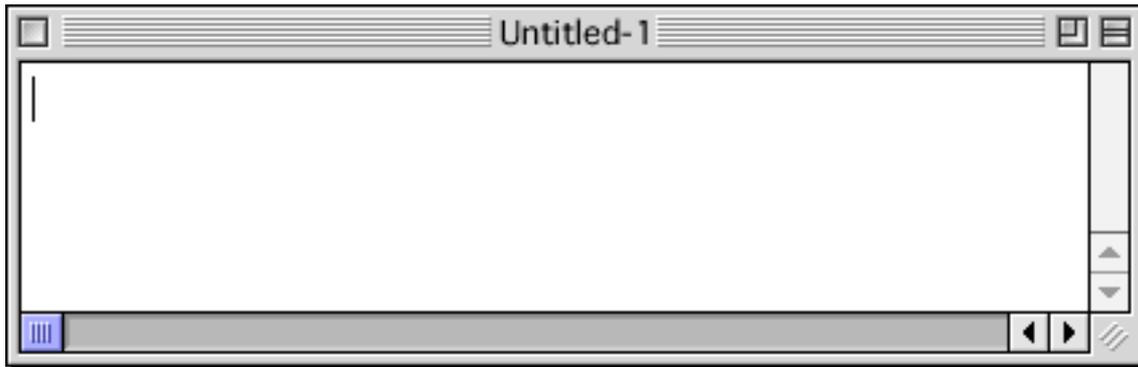
マルチファイル検索がオンになっている場合は、「Find」ダイアログの「Multi-File Search」チェックアイテムがオンになります。オフにしたい場合は、このボタンをクリックします。

Multi-File Search

マルチファイル検索がオンの状態で「Find」ボタンをクリックすると、指定されたディレクトリ下のファイル検索が開始されます。次のファイルを検索したい場合は、「Search」メニューの「Find in Next File」を選択します。

ディレクトリ指定は、検索対象フォルダを ASLEdit+のアイコンにドラッグアンドドロップすることでも指定できます。

ウィンドウ



クローズボックス

ウィンドウ左上のクローズボックスをクリックするとウィンドウをクローズします。
オプションキーを押しながらクリックすることで、全てのウィンドウをクローズできます。
オプション・シフトキーを押しながらクリックすることで、全てのファイルを保存せずにクローズできます。

オートインデント

タブを入力後、リターンキーを入力すると次の行に自動的にタブが入力されます。
(オートインデント機能)

これを無効化したい場合は、オプションキーを押しながらリターンキーを入力します。

正規表現

「Find」ダイアログ内の「Grep」チェックボックスをオンに設定することで、正規表現で検索・置換が可能です。(但し現在のバージョンでは、日本語を扱えません。)

使用例： Data1 Data2 を Data2 Data1 に置き換える場合

「Find」フィールドに `^\([a-zA-Z0-9]*\) \([a-zA-Z0-9]*\) $`

「Replace with」フィールドに `\2 \1`

を入力する

詳細は、正規表現の参考書をご覧ください。

パフォーマンス比較

ASLEdit+が、どの程度のパフォーマンスなのか、巨大ファイルを作成して他のエディタと比較してみます。

機種： PowerMac G4 1.25GHz DUAL CPU / 2GB Memory

OS： Mac OS X 10.3.5

ファイル：<http://www.opensource.apple.com/darwinsource/tarballs/other/gcc-1495.tar.gz>

をダウンロードして、以下の方法で巨大テキストファイルを作成

```
% tar xzf gcc-1495.tar.gz
% find gcc-1495 -type f -print | xargs cat | uuencode gcc | tr '\n' '\r' > gcc.txt
% /Developer/Tools/SetFile -t TEXT gcc.txt # Developer Tools がある場合

% ls -l gcc.txt
-rw-r--r--  1 hiroo  staff  196442756 30 Aug 20:50 gcc.txt
```

約 187MB の巨大テキストファイルが作成されます。uuencode したのは、バイナリデータが含まれるとオープンできないエディタがあったからです。(gcc.txt ファイル作成時に 1 ファイルがエラーになりますが、このファイルは無視します)

ASLEdit+のメモリサイズを 500MB に設定します。gcc.txt を各アプリケーションにドラッグアンドドロップして時間を計測します。実メモリが 2GB あるので、1 回目の計測で巨大ファイルがシステムバッファにキャッシュされます。2 回目以降の結果は以下の通りです。

アプリケーション名	表示開始までの時間	読み込み完了までの時間
ASLEdit+ 1.0	3.5 秒	(同左)
BBEdit 7.1.4	25 秒	(同左)
Xcode 1.5	17 秒	103 秒 (1 分 43 秒)
Code Warrior IDE 5.5.2	158 秒 (2 分 38 秒)	(同左)
テキストエディット 1.3 (v202)	34 秒	695 秒 (11 分 35 秒)

皆さんが愛用しているエディタでもお試し下さい。正常に表示されたように見えても、スクロールバーの表示がおかしかったり、入力が非常に遅くなるエディタもありました。使用目的が限定されているならば「シンプルイズベスト」なのが、この結果からわかるでしょう。Mac OS 9 上で 1.4GB の読み込みは約 1 分でした。(HD からの読み込み時間を含む)

配付について

ASLEdit+はフリーウェアです。インターネット以外の無償配付（友人への手渡し・イントラネット内の配付等）の場合は、配付制限はありません。

インターネット上の転載や、有償配付物への添付等は、activeopen@mac.com山田宛に電子メールでご連絡下さい。

最新版は、<http://www.activeopen.co.jp> のフリーウェアに登録されます。

リリースノート

1.0 08/31/2004 イニシャルリリース